刀匠玉置家歴代の墓

【所　在　地】鹿児島市喜入町喜入 8230
【種　　別】県指定史跡
【指定年月日】昭和 60 年４月 19 日

鹿児島の薩摩刀には，波平系，丸田系，奥系，宮原系，池系，玉置系等の系統があり，それぞれ優れた刀工を数多く輩出したが，玉置家を除く他の刀工の墓はほとんど合葬されていてその原形をとどめていない。

玉置家については，一代安貞及び二代安代から七代眞安に至るまで，その一門の墓が一か所にまとまって原形をとどめ，保存されており，極めて貴重といえる。

玉置家の中でも，二代主馬首安代は享保６（1721）年正月，宮原正清（宮原系）とともに将軍吉宗に招かれて江戸浜御殿で鍛刀，一葉葵紋を賜り，江戸から帰途京都において主馬首を受領した。

面積 42・の墓地内に 26 基の墓石が立ち並んでいる。